

炎症性微小環境を標的とした 頭頸部がん治療の開発



鈴木 真輔

SHINSUKE SUZUKI

准教授 博士（医学）

医学系研究科 医学専攻 機能展開医学系
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

研究キーワード

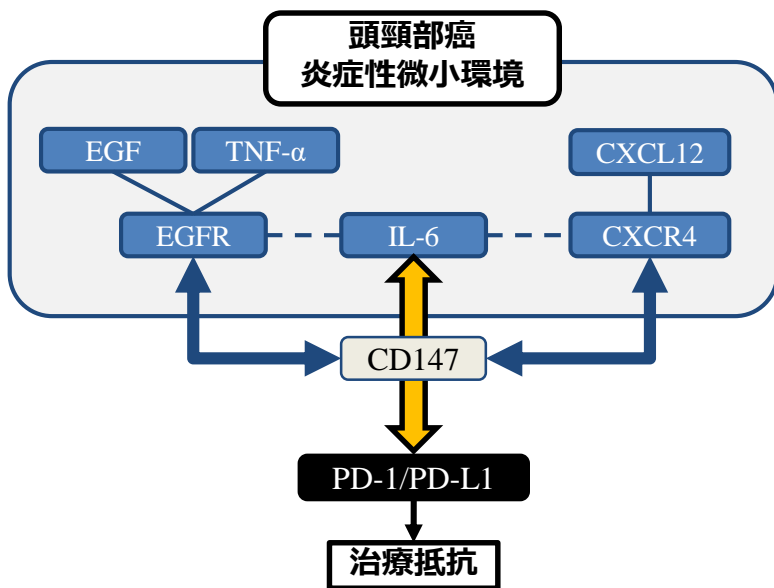
分子標的、細胞内シグナル伝達、炎症性微小環境、腫瘍免疫微小環境、炎症性サイトカイン

研究概要

頭頸部癌の発生や進展には、喫煙や飲酒、ウイルス感染などの炎症が強く関連することが示唆されています。

また、炎症は癌細胞の浸潤や増殖だけでなく、腫瘍免疫にも影響し、薬剤抵抗性に関与することも明らかとなりました。

本研究では頭頸部癌をとりまく炎症性微小環境を解明し、頭頸部癌進展の制御および新規治療標的の発見を目指します。



予想される応用例

バイオマーカーの開発
新規標的の解明による創薬

産業界へのアピールポイント

本研究の成果により、頭頸部がん治療後の食事や会話など、生活の質の改善が期待されます。